

—夢・大地 みんなが愛する水の里—



とめ 市議会だより

2018

第55号

8月1日

開通間近の高規格道路を歩く小学生!
(宝江小学校 森六付近)



目次

6月定期議会	2
特集①今、病院で何が起きているのか!	8
特集②追跡レポートあの事業はどうなっているの?	10
一般質問	12

入札制度の在り方を問う！ 工事請負契約の議案を否決

6月定期議会

平成30年定例会6月定期議会は、6月8日から21日までの14日間の日程で開かれました。
冒頭では新教育長の就任挨拶がなされ、教育行政に対する考え方が示されました。
本定期議会では、平成30年度各種会計補正予算、条例改正及び人事案件を含む23議案を審議し、議案第58号を除き、原案のとおり可決しました。
一般質問は20人の議員が登壇し、市長等にその考えを質しました。

工事契約

議案第58号
◎登米祝祭劇場舞台音響設備
改修工事の請負契約の締結

【概要】

施設の音響設備は、6年9月の開館時から使用しており、一般的に10年といわれる音響機器耐用年数を大幅に超過している。
突発的な故障などにより、劇場運営への支障が懸念されることから、音響設備の更新（アナログ式からデジタル式へ）とスピーカー・マイクの入れ替え等を行うもの。

- ・契約形態 一般競争入札
- ・最低制限価格 2億3129万1千円
- ・落札価格 2億3129万1千円



賛成10、反対15

【経緯】
先の2月定期議会で審議された「迫児童館新築工事に係る工事請負契約の締結」において、最低制限価格と落札価格との完全一致が生じた。このため、総務企画常任委員会は調査を行い、入札・契約制度について、早期の改善が必要である旨の結論を出した。
しかし、今回はかかる改善がなされないままに、再度同一の制度の下で、最低制限価格と落札価格との完全一致が生じていることから、活発な質疑や討論がなされ、否決した。

条例の改正

2施設を簡易宿所として改修
◆及基と源氏ボタル交流館
等条例の一部を改正



及基と源氏ボタル交流館

集会施設から宿泊利用を可能とする簡易宿所として改修し、新たに施設利用料を定めるもの。

◆公園条例の一部を改正

平筒沼ふれあい公園管理棟を、集会施設から宿泊利用を可能とする簡易宿所として改修し、新たに施設利用料を定めるもの。



平筒沼ふれあい公園管理棟

人事

【4月特別議会】

◆教育長の任命に同意



任期 33年5月20日まで

高橋 富男氏（中田町）

◆教育委員の任命に同意



任期 34年5月20日まで

佐竹 美香氏（米山町）

【6月定期議会】

◆教育委員の任命に同意



任期 34年6月30日まで

須藤 勝子氏（登米町）

財産の取得

◆佐沼小学校学習机・椅子購入



学習机

【契約の相手】 有限会社 川内事務機

【契約金額】 2786万4108円

◆消防ポンプ自動車（CDI型）1台

【契約の相手】 株式会社 古川ポンプ製作所

【契約金額】 1965万6000円

◆高規格救急自動車 1台

【契約の相手】 宮城トヨタ自動車佐沼店

【契約金額】 3121万2000円

人権擁護委員候補者の推薦に同意
小野寺 裕氏（東和町）

宅地分譲開始 ひだまりタウンよねやま

本市への移住促進・地域の活性化を図ります

一般会計

◆ひだまりタウンよねやま 土地取得補助事業

事業費 300万円

【事業目的】

「ひだまりタウンよねやま」の分譲にあたり、市外から転入する若者・子育て世帯の土地取得費用について助成を行うことにより、本市への移住者の誘致及び地域の活性化を図るもの。

【事業概要】

- (1) 対象区画 本年度見込み2区画分
- (2) 対象世帯 次の要件を全て満たすもの
 - ア 夫婦のいずれも分譲地売買契約締結日以降に本市に転入する方（分譲締結日から起算して過去3年以上市外に住所を有している方）



分譲を開始した「ひだまりタウン よねやま」

イ 夫婦のいずれかが40歳以下の方、または夫婦のいずれかが45歳以下であり、中学生以下の子どもを扶養している方

- (3) 補助額 一律150万円
- ※登米市住まいサポート事業補助金との併用は不可
- (4) 交付期間 宅地の所有権移転完了後、一括して交付
- (5) 補助金の返還（全額）
 - ア 分譲地売買契約締結日から2年以内に住宅建築に着手しなかったとき。
 - イ 分譲地売買契約締結日から3年以内に住宅を完成させなかったとき。
 - ウ 分譲地売買契約締結日から10年以内に宅地を第三者に貸付、または譲渡したとき。

◆地方創生に向けて がんばる地域応援事業

事業費 150万円

【事業目的】

一般社団法人地域活性化センターの「地方創生に向けてがんばる地域応援事業」を活用し、コミュニティ組織など市内の地域団体に補助金を交

付することにより、集落の維持活性化を図りながら、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するもの。

【事業概要】

- (1) 補助金名 地方創生に向けてがんばる地域応援事業補助金
- (2) 実施事業名 孤立・孤独死を出さない地域の見守り事業
- (3) 事業実施主体 豊里コミュニティ推進協議会
- (4) 事業内容
 - ① 孤立・孤独死防止PR動画の制作
福祉関係者と連携し、多様な住民参加によるショート動画を作成し、上映会を開催するほか、他の自治体等へ普及啓発を行う。
 - ② 独居・高齢世帯、要支援者の見守り事業
町内会長、区長を中心に、緊急時の連絡先を記入するカードを製作し、配布するなど、近隣住民同士が支え合っ て見守るシステムを構築する。

◆(仮称)東佐沼こども園 施設整備事業

事業費 2489万円

【事業目的】

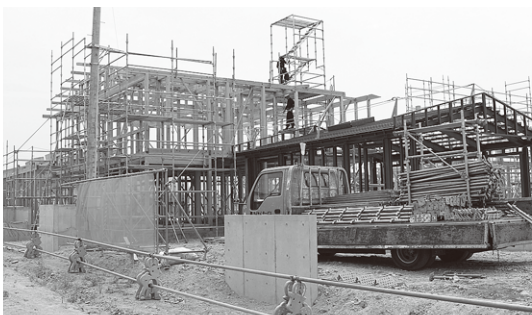
「登米市子ども・支援事業計画」の基本方針である「学びと保育の環境づくり」を推進するため、認定こども園の整備を推進し、教育と保育の一体的な提供及び保護者への支援を行い、待機児童の解消を図るもの。

【事業概要】

認定こども園等施設補助金 国庫補助制度を利用した認定こども園等施設整備補助金（制度補助金）を交付するもので、30年度国庫補助基準額の改定および事業費変更に伴い、補助金を補正するもの。

◆保育連携型認定こども園等 施設設備支援補助金

認定こども園を整備する事業者に対し、制度補助に加え、市で独自に上乗せ補助を行い、施設整備を支援するもので、30年度国庫補助基準額の改定および事業費の変更に伴い、補助金を補正するもの。



建設が進む(仮称)東佐沼こども園

【その他主なもの】

- ◆火葬場管理運営費 斎場システム導入に要する経費 198万円
- ◆経営体育成支援事業費 経営体育成支援事業に要する経費 3996万円
- ◆体育施設管理費 長沼ボート場クラブハウス管理に要する経費 851万円

国民健康保険 特別会計

歳入予算

歳入補正予算のうち、国民健康保険税では、本年度課税所得の確定に伴い本算定を行うもので算定にあたっては、県の方針に基づき賦課方式をこれまでの4方式から、資産割りを除いた3方式に改める。あわせて、被保険者の負担軽減を図るため、国民健康保険事業財政基金繰入金2億8332万円を増額し、税率の引き下げを行うこととし、これにより国保税総額で2億7825万1千円を減額するもの。

さらに、県支出金では、30年度給付見通しに基づき、県から交付決定があったことから、保険給付等交付金を3億2768万5千円を減額する。

補正予算では、3億2304万円を減額し、予算総額を88億3496万9千円とするもの。

歳出予算

歳出補正予算では、保険給付で、県から30年度見通しが

示されたことから、当初予算において仮算定で計上していた額との差額3億2768万5千円を減額。あわせて、事業費決定に伴い国保事業納付金について、所要の補正を行うもの。

国民健康保険事業財政基金状況

30年度中の国民健康保険事業財政調整基金の見直しは、国保会計の安定的な運営のため、5年後の基金残高を一定程度見込んだ上で基金を活用し、被保険者の負担軽減を図るもの。

改正税率

30年度税率の算定に当たっては、国民健康保険事業財政調整基金を活用し、被保険者の負担軽減を図るもの。

※モデル世帯

夫婦（40歳以上）と子ども2人が加入した場合で、夫の給与所得が200万円（収入312万円）夫の固定資産税5万の場合、国民健康保険税額で2万1700円の減額となる。

6月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果																									
				1 上野 晃	2 曾根 充敏	3 佐々木好博	4 須藤 幸喜	5 岩淵 正弘	6 佐藤千賀子	7 熊谷 和弘	8 日下 俊	9 佐々木幸一	10 氏家 英人	11 工藤 淳子	12 武田 節夫	13 関 孝	14 岩淵 正宏	15 伊藤 吉浩	16 中澤 宏	17 浅田 修	18 佐藤 惠喜	19 田口 政信	20 沼倉 利光	21 相澤 吉悦	22 熊谷 憲雄	23 及川長太郎	24 八木しみ子	25 伊藤 栄	26 及川 昌憲
議案第58号 工事請負契約の締結について (登米祝祭劇場舞台音響設備 改修工事)	否決	10	15	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対、(欠)は欠席、(議)は議長。

総務企画常任委員会

「安心・安全なまちづくり」のために

佐沼警察署との意見交換会

(5月24日調査)

高齢者が安心して暮らせる地域コミュニティや公共交通の在り方、緊急時の支援や配備態勢などについて意見交換を行った。また、警察側からは犯罪抑止や事件解決のため、防犯カメラの設置や公用車へのドライブレコーダーの設置を求める要



佐沼署との意見交換会の様子

望をいただいた。より安心・安全な市民生活が送られるよう、市へつなぎたい。

飛鳥未来きずな高等学校 登米本校を現地視察

(2月28日調査)

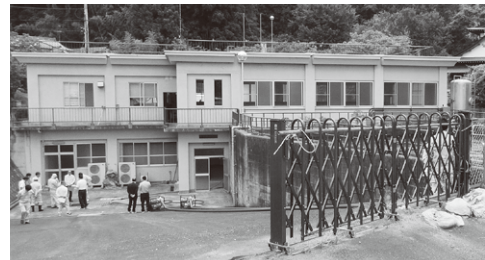
29年4月1日に旧米山高校跡地に開校した学校法人三幸学園(東京都)が運営する通信制高校を視察調査した。現在、生徒数は26人で、19人の教職員により、一人一人に寄り添ったきめ細やかな教育が行われていた。また、農業実習や体験を通して「地域との交流」にも積極的に取り組んでいることに共感が持てた。これからも、生徒一人一人が安心して高校生活を送られるよう、地域との関わり合いを深めながら

取り組まれない。

定住促進宅地造成事業の進捗を現地視察

(2月28日調査)

旧米山高校の実習地だった土地を宅地造成、「ひだまりタウンよねやま」として24区画を分譲する事業の進捗を調査。事業の進捗率は全体で約80%、ゴールデンウィーク明けからの分譲開始を目指している。分譲価格を低く抑え、移住・定住に関わるさまざまな政策もあることから、若い世代の購入を促したい。完売目標年度を32年度としているが、積極的な情報発信に力点を置き、早い段階での完売を目指された



事故が発生した大泉揚水機場

大泉揚水機場浸水事故への対応

(4月23日調査)

3月9日早朝、大泉揚水機場ポンプ室が水没する事故が発生した。前日からの降雨による浸水との見解である。

この事故により、揚水ポンプに不具合が生じ8200万円(見込み)の復旧事業費が必要となる。委員会としては、原因をしっかりと調査しつ

機場管理の徹底を

つ、利水期でもあり、万全に対処するよう求めた。

定住促進宅地造成事業

(2月8日、3月16日、3月26日、4月23日調査)

本件は、米山町津山地区に整備した「ひだまりタウンよねやま」について、24区画を定住促進宅地として分譲するものである。価格は一区画当たり180万円程度で値ごろ感がある。県から用地取得しており、販売価格に反映できた。

委員会としては、「移住定住者の優先度を明確にすべき」とし、また特に子育て世帯の移住定住が促されるよう、新たな補助金など支援を検討されるよう求めた。

その他の調査事項

- ・意見交換会(登米中央商工会女性部・農業委員会)
- ・市道路線認定廃止について
- ・石越高森公園再整備事業
- ・道路整備計画・維持計画
- ・市内における県土木事業の進捗状況

教育民生常任委員会

楽しめるパークゴルフ場 整備の工夫・改善を

パークゴルフ場整備事業

(4月25日調査)

芝植えのコース整備工事は、9月・10月の施工となり、オープンは31年6月となる。チャチャワールドと一体的な管理運営とし、31年4月から指定管理による管理運営とした。日々の利用に不便が生じることなく楽しめるよう、もう一段の工夫と改善を求める。

学校再編

(2月8日調査)

学校再編の基本的な考えが示された。しかし、小学校は旧町域ごと1校、中学校は市全域を基本とするとしたが、再編の具体的な姿は見えてこない。「学校再編構想」の策定を急ぎ、市民の理解を得て、計画的な再編に着手できるよう全力を挙げられた。

高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(案)

(2月16日調査)

今回810円の値上げで、登米市の介護保険料月額6800円は県内でも高い方になる。国の負担割合は根本的な問題であり、国に積極的に働きかけていくことが必要で



パークゴルフ場整備事業について調査中

ある。これから高齢化が進むにつれ、保険料は上がっていく。総合的な介護予防対策を検討されたい。

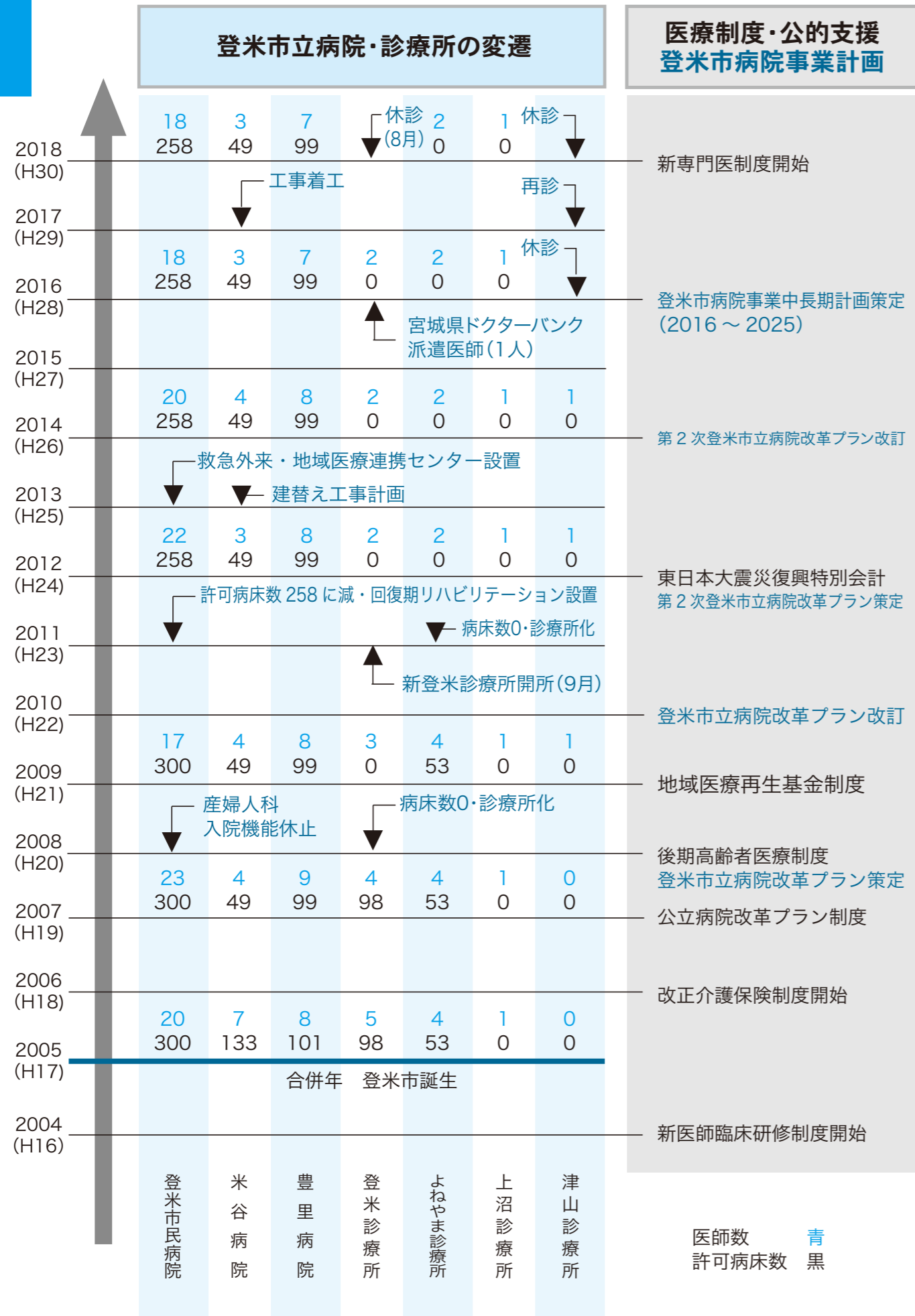
その他の調査事項

- ・登米市医療の在り方について
- ・津山診療所の休止について
- ・長沼ポート場クラブハウス整備事業について



議会の動き

4月	5月	6月
11日 広報広聴委員会 議会運営委員会	15日 島根県出雲市議会 議会運営委員会	1日 議会運営委員会
13日 広報広聴委員会 4月特別議会	17日 産業建設常任委員会 新潟県胎内市議会 産業建設常任委員会	5日 広報広聴委員会
17日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会	19日 第70回東北市議会 議長会定期総会	6日 総務企画常任委員会
18日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会	21日 新潟県胎内市議会 産業建設常任委員会	7日 議会改革推進会議
19日 産業建設常任委員会 教育民生常任委員会 公共施設のあり方調査特別委員会	23日 議会運営委員会 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会	8日 6月定期議会(21日)
23日 産業建設常任委員会 教育民生常任委員会	25日 公共施設のあり方調査特別委員会	13日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
26日 公共施設のあり方調査特別委員会	28日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会	14日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
31日 広報広聴委員会 議会改革推進会議	30日 総務企画常任委員会 政策企画調整会議 広報広聴委員会	15日 議会運営委員会
	28日 全国市議会議長会第94回定期総会	19日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
	24日 総務企画常任委員会 公共施設のあり方調査特別委員会	20日 広報広聴委員会
	23日 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会	27日 政策企画調整会議
	21日 新潟県胎内市議会 産業建設常任委員会	28日 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会
	17日 産業建設常任委員会 新潟県胎内市議会 産業建設常任委員会	
	15日 島根県出雲市議会 議会運営委員会	



医療制度・公的支援 登米市病院事業計画

2018 (H30) 新専門医制度開始

2017 (H29) 工事着工

2016 (H28) 登米市病院事業中長期計画策定 (2016～2025)
宮城県ドクターバンク派遣医師(1人)

2014 (H26) 第2次登米市立病院改革プラン改訂

2013 (H25) 救急外来・地域医療連携センター設置
建替え工事計画

2012 (H24) 東日本大震災復興特別会計
第2次登米市立病院改革プラン策定
許可病床数 258 に減・回復期リハビリテーション設置
病床数0・診療所化

2011 (H23) 新登米診療所開所(9月)

2010 (H22) 登米市立病院改革プラン改訂

2009 (H21) 地域医療再生基金制度

2008 (H20) 産婦人科入院機能休止
病床数0・診療所化
後期高齢者医療制度
登米市立病院改革プラン策定

2007 (H19) 公立病院改革プラン制度

2006 (H18) 改正介護保険制度開始

2005 (H17) 合併年 登米市誕生

2004 (H16) 新医師臨床研修制度開始

① 疑問!

どうしてお医者さんが来ないのか?



実は全国的に医師の数は増えている!

医学部定員は年々増加し、19年には7,625人だったのに対し26年には9,069人と大幅に増えています。

増えたお医者さんはどこへ?

これまでも国内では、医療費の増大と高齢化による患者の増加によって、医師は負担の増加を強いられ、慢性的な医師不足となっていました。そこへ16年(2004)に新医師臨床研修医制度が始まり、研修医は出身大学の医局にとらわれず自由に研修病院を選択できるようになりました。

この制度によって大学や民間を問わず設備や待遇の良い、または学びたい医師のいる人気の病院に研修医が集中するようになり、さらに全国的な偏在化が進みました。

② 問題は!

これまで地域医療を立て直すために、政府でも様々な政策が打ち出されてきました。19年には「公立病院改革プラン」、21年には「地域医療再生基金」による支援、30年の本年度からは「新専門医制度」など。しかし、登米医療圏域ではこれまでの国の政策の流れに追従することができないでいます。

これから高齢化が一層進む状況の中で、いち早い政策への対応や地域内医療の方向性の確立と実施、そして人口減少に対応するための広域連携を構築していかなければなりません。

③ 今しかない、改革実施!!

登米市の常勤医師の平均年齢は54歳! 全国平均では44歳、臨床研修医指定病院では40歳! 医師の高齢化が問題になっています。

そしてこれまで登米市の3病院4診療所体制はピーク時で40人前後の常勤医で維持されてきましたが、現在常勤医は31人まで激減し維持が困難な状況となっています。

このままでは、登米市全体の医療体制そのものの存続に係る重大な局面を迎えることになってしまいます。今後状況が大きく変化していく中で、この維持・存続に係る問題は大きな決断となります。そして何より、その条件整備と環境整備なしには研修医も常勤医にも来てもらえません。これは、**登米市民病院では現在、基幹型臨床研修病院の指定を受けていないことが大きな原因**となっています。

④ これからしなければならないこと!

- 基幹型臨床研修病院の指定を受ける。
* 基幹型臨床研修病院の指定を受けるためには、新規実入院患者数 3,000 人を達成しなければならない。(昨年で 2,684 人)
* 初期研修医受け入れ実績 24 カ月の達成。(昨年まで 14 カ月) (現在協力型の病院として実施)
- 古い医療機器の更新。(現在約 90%が耐用年数超過)
- 中長期的視点で、病院施設そのものの更新も視野に入れる。

これらの条件を整備し、医師の安定的確保と病院経営の健全化を目指す。



追跡 第1回 追跡レポート

あの事業はどうなってるの？

議会での議決事項から、関心が高いと思われる事業について、その後の状況を皆さんに報告します。

長沼ボート場クラブハウス新築事業

長沼ボート場は、優れた競技環境を有する国内屈指のボート競技場である。しかし、大会開催時などに拠点となる施設がないことから、クラブハウス新築工事に着手した。

全国規模のボート大会や練習会、強化合宿およびボート競技以外の合宿等の受け入れを基盤とした拠点施設として整備が行われた。

2020年に開催される東京オリンピックボート競技の

事前合宿地として、世界各国から注目される施設となるよう整備に取り組んできたが、参加国の事前合宿誘致が課題となっている。

29年9月から工事が開始され、本年9月8日にオープンを予定しており、多くの方々に利用される施設となるよう望むものである。



完成間近の長沼ボート場クラブハウス

パークゴルフ場整備事業

登米市パークゴルフ場は、28年6月に、石越高森公園内に設置することが決定した。石越高森公園は、三世代が楽しめる新たな公園として再整備される。

29年10月からはチャチャワールドいしこしの施設を休止し、本格的に工事着手した。

しかし、既存施設の撤去や工事不能期間の発生により造成工事が大幅に遅れ、パークゴルフ場の緑化作業は今秋から着手する計画となっている。

現在の予定では観光公園を31年春、パークゴルフ場は同年6月オープンを目指し事業が進められている。



パークゴルフ場造成中の高森公園
6コース54ホールが整備される
(30年6月29日撮影)

工業団地整備事業

雇用機会の創出を目的として企業誘致を推進するため、新たな工業団地の整備事業を実施している。

長沼第二工業団地は、本市の中心部である迫地区から北西約2kmに位置し、東北自動車道築館ICまで20km、東北新幹線くりこま高原駅まで15kmと交通アクセスも良好である。

29年3月末に完成し、29年4月に分譲を開始した。また、工業団地への誘致の実績はないが、工業振興課によると、本年6月末現在で、立地に向けた検討中が1社、候補地の一つとして検討中が3社とのことである。



分譲中の長沼第二工業団地

【施設概要】

所在…迫町北方字天形地内
構造…木造2階建て
延床面積…897・65㎡
宿泊定員…77名
設備内容…1階 集会室兼
トレーニング室、食堂および厨房、トイレ、ロッカー、更衣室、シャワー室
和室12畳（5室）
2階 洋室12畳（6室）、
ラウンジ、トイレ



クラブハウス1階の和室

（仮称）登米インター工業団地

本市が抱える課題解決を目指し、結果を出す、さらなる誘致活動を望むものである。

本市が抱える課題解決を目指し、結果を出す、さらなる誘致活動を望むものである。

（仮称）登米インター工業団地は、三陸自動車道登米ICから南東に1・5kmに位置し、交通アクセスに恵まれている。また、東北自動車道築館ICと三陸自動車道登米ICを結び「みやぎ県北高速幹線道路」が整備中であり、登米ICは、内陸部と沿岸部を結ぶ「広域交流拠点」となっている。

31年3月の完成予定で、31年4月の分譲開始予定である。現在、1社が立地に向け検討中、5社が候補地の一つとして検討中とのことである。

他自治体も積極的な誘致活動を展開している。



造成が進む（仮称）登米インター工業団地

パークゴルフ場整備関連の経過

- 28年6月 整備地を「石越高森公園」に決定。
- 29年9月 整備区域外の南側で遊具機能を残し、東側のあじさい園とあわせて、幅広い世代の方々が楽しめる新たな公園として整備する方針を表明。
- 29年10月 整備工事に着手（30年10月オープン予定）。
- 30年3月 造成工事の遅れや、天候不順による芝植え作業の遅れにより、オープンを31年6月に延期。

問 市民病院改築、計画策定を早急に

答 32年度までに計画を完了したい



相澤吉悦 議員

問 現在の市民病院の医療体制では、医師の招聘が難しい。原因については、臨床研修病院に指定されていない。新専門医制度にも対応できない状況である。私としては、市民が安心して暮らしていくためにも研修医が来られる病院、新専門医制度にも対応できる病院にしなければならぬと思うが。

答 市民病院の基幹型臨床研修病院指定を目指し、若い医師に勤務先として選んでいただくための環境整備に取り組み、老朽化が進む施設の将来



老朽化が進む市民病院、改築に向けた協議を早急にすべき

問 市民病院の基幹型臨床研修病院指定を目指し、若い医師に勤務先として選んでいただくための環境整備に取り組み、老朽化が進む施設の将来

況である。私としては、市民が安心して暮らしていくためにも研修医が来られる病院、新専門医制度にも対応できる病院にしなければならぬと思うが。

答 32年度までにこの計画を完了、あるいはいかに早く、現在の問題を皆さんで共有し進んでいかなければならない。私は、それしかこの登米市病院事業を支える方向性はないと思っている。

小中学校にエアコンを

問 地球温暖化に伴い、平均気温が高くなっている状況のもと、子どもたちが良い環境で学習できるようにエアコンを設置すべきと思うが。

答 学校再編を控え、今言えることは、前向きに検討していく。条件が整ったら、エアコンが入った校舎で快適な学習ができるようにしたい。

問 英語教育に対する教育長の所見は

答 英語を楽しむことが重要と考える



上野 晃 議員

問 いよいよ小学校でも英語が教科化される。教育長の所見は。

答 思考力、判断力、表現力、対人関係力などを伸ばしていくことが期待される。

問 人格形成期に二つの言語を並行して学ぶ意義については。

答 グローバル化が進む中で、日本の子供も国際社会に通用するように育てたい。

学校統合についての教育長の所見は

問 児童・生徒数の減少などの理由で学校統合が必要となった場合、教育長は誰の意思または教育



いよいよ始まる、小学校での英語教育。今後、国際社会で日本人が活躍する場は、より広がるものと考え

上の利益を最優先する考えか。

答 次世代を担う子供たちの立場に立ち、子供たちにとって、よりよい教育環境を提供することが最も大切と考えている。

病院についての市長の考えを質す

問 「登米市病院事業中長期計画」は、市長と病院事業管理者の就任前に作られたものである。

また、状況が大きく変わってきているにも関わらず、3病院4診療所体制を前提に作られている。大幅な見直しは考えなかったのか。
答 トップが変わったために、完全に変更するということは絶対にはありえない。見直しは5年間隔で行っていく。

問 有害鳥獣被害対策事業の充実を

答 国の支援制度の活用について検討



熊谷和弘 議員

問 県内で急増するイノシシが近隣自治体で目撃されている。本市においても同様であり、その他の獣類による被害も確実に増えている。

本市においても有害鳥獣被害対策事業を実施しているが、防護柵等設置事業について大崎市、気仙沼市など近隣自治体と比較すると、補助限度額は本市の6倍または2倍となっている。さらに狩猟者確保対策事業も実施しているが、狩猟者の高齢化が課題となっている。本市においても事業の充実を図るべきと考える

が。

答 今後の市内における鳥獣の種類や被害額の推移を注視しながら、被害の状況に応じた補助限度額を設定する考えである。狩猟者の担い手の確保については、宮城県猟友会と連携し、狩猟者の掘り起こしを行っている。

事業についての広報紙などによる周知は、どのように考えているのか。

答 産業経済部で毎年4月に「産業振興のための支援事業のお知らせ」を全戸配布している。この中に掲載したいと考えている。また、「広報とめ」についても今、検討しているところである。

その他の質問

・中学校に発達障がい通級指導教室の設置を
・小・中学校における教員補助員・業務補助員の配置について



農作物を害獣の被害から守るために

問 もっと利用しやすい市民バスへ

答 持続可能な公共交通体系を目指す



曾根充敏 議員

問 バス利用は古い防止にもつながる。高齢者が無料で市民バスを利用できる「敬老バス」の導入を提案するが。

答 利用実態など、さまざまな角度で検討して判断したい。

問 佐沼地区には、病院やスーパーなどの都市機能が集約している。待合施設がある市役所やバス営業所を起点として、この都市機能を循環する「用足しバス」を導入すれば、コンパクトシティ構想にも応用できると考えるが。

答 利便性向上につなげるよう検討する。
問 市民の声を把握で



交通弱者にとって、バスは大切な足。充実を!

き、反映されているか。
答 現状の把握が一番大切だ。どんな話があるのか機会を捉え調査したい。

社会体育施設整備の方向は

問 どのような位置付けの社会体育施設を優先して機能整備するのか。
答 利用者数、今後の需要、コスト負担など。
問 石越球場は、再三修繕要望が出ているが。

答 球場全体に凹凸部が見られ、大規模改修が必要と判断した。第二次登米市総合計画に事業掲載し、32年度に改修工事を行う計画である。

問 この球場は県中総体でも積極的に使われた。改修の際は、照明などの機能強化も配慮すべきでは。
答 そのようなことも踏まえ、全市的視点の中で検討したい。

問 交換分合制度活用で農地集積を

答 担い手への農地集約化を推進する



浅田 修 議員

問 1万9千ヘクタールの耕地を抱える登米市の効率的かつ安定的な経営体への面的集積を促進することが重要であり、不可欠な要素となっていないか。

答 農地中間管理機構関連の農地整備事業等を活用し、分散地集積の解消に向け推進する。

副市長の使命について

問 本年4月1日付で新



交換分合制度を活用し、積極的に農地集積を図るべき

副市長が就任した。市長のサポート役として、「市政運営」と「政策実行」のどちらを主に、使命と目的を持たせるのか。
答 市政運営、政策実行のいずれにおいても、これまでの経験を通じて培った能力をいかんなく発揮し、幅広いネットワークを存分に生かしながら、本市発展のために尽力いただく。

新教育長が目指す教育とは何か

問 新教育長としての所信を伺う。

答 「現場に寄り添う教育委員会」を目指し、児童・生徒の学力向上やいじめ、不登校など課題解決への取り組みを進め、地域づくりを担う「人づくり」に尽力する。

その他の質問
・買い物、ゴミ出し、除雪における弱者対策について

問 登米市農業の方向性について伺う

答 経営を含め総合的に支援していく



佐々木好博 議員

問 登米市が農業を基幹産業とする根拠はどこにあるのか。また、基幹産業であるべき支援の方向性を再検討し法人経営支援の考え方と申請書類支援の在り方について伺う。

答 基幹産業の理由としては、農業から波及する二次・三次産業へつながる流れの中で重要な位置にあるという認識だ。法人等の農家支援については、本年度から宮城県農業経営相談所ができる。そのつながりをしっかりと行っていく。また、各種書類の申請支援については、国への申請など農政局の回答を経て考慮していく。



書類作成支援を

問 農業について専門職を置く考えはないのか。

答 人事異動による担当者交代の際には、農家の不利とならないような体制を取っていく。

交通弱者対策について

問 デマンドタクシー導入の障害とは何か。

答 米川地域で実施しているデマンドタクシー利用者数は減少傾向にあり、市の財政負担を大きくしている。

児童のカバンについて

問 大変重くなった子どもたちのカバンは、成長に悪影響を及ぼさないか。

答 調査の上、適切な重量を考えて方向付けをしていく。

問 やってはならない病院縮小

答 3病院4診療所を維持する努力が大切



佐藤恵喜 議員

問 市立病院の存在意義、あるべき姿について伺う。

答 地域医療を守る最後の砦だ。市民から信頼され、若い医師に魅力ある

設備、体制整備が必要だ。3病院4診療所体制の見直しの検討を進める。
問 3病院にあるベッド数は多すぎるため、減らすということか。

答 急性期は、市民病院を中心にしていくことが大前提と考えている。医療法の改正等で、療養型の段階的廃止と介護医療院への転換というのがうたわれていて、今後のあ



市民の命と健康を守る砦、市民病院

問 以前、NHKで「病院は建てたけど医師集まらず」と報道された。市民病院の新築移転は、慎重な対応が必要だと考えるか。

答 あらゆる選択肢を視野に検討する。

問 高橋新教育長の教育理念を問う

答 地域と一体感のある教育を目指す



田口政信 議員

問 市長は、高橋教育長にどのような教育行政を展覧してもらおうと思いで任命されたのか。

答 学校教育に長い経験があり、社会教育にも造詣が深い方なので、経験を生かした教育行政を期待している。

問 新教育長の教育方針、教育理念は何か。

答 教育基本計画を基本に、学校と家庭が風通しの良い環境をつくり、地域と一体となった教育をしていく。

問 学校再編についての考え方は。

答 児童の減少が進む小学校から地域単位で進め、複式や学年単学級の



公民館は、地域における社会教育の重要施設

問 社会教育の主体を指定管理者であるコミュニティに委任しているが、教育委員会の立ち位置をどう考えているのか。

答 施設運営の指導助言やチェックをし、利便性の評価や職員研修会の開催などでスキルアップを図っている。

問 公民館で人材育成や各種講座などのメニューを提示し、教育委員会としての指導力を発揮してはどうか。また、コミュニティビジネスを展開できる組織育成を目指すべきではないか。

答 指導者の資質向上を図り、学校教育と社会教育の壁を越えた教育行政を展開する。

問 企業誘致の現状と方向性について

答 早期立地に向けた誘致活動を推進



八木しみ子 議員

市長は、人口減少対策の中で「雇用・定住」働く場の確保に取り組むとしている。企業誘致の現状と方向性を問う。

①長沼第二工業団地（28年度完成）の現状は。②（仮称）登米インター工業団地の現状は。



長沼第二工業団地



（仮称）登米インター工業団地

早期企業誘致を待つ工業団地

あたっては、自動車関連産業に加え女性の働く場の確保に向け誘致活動を行うっており、今後も若者の移住・定住に結びつくよう取り組んでいく。

東日本大震災後、豊里に誘致し閉鎖したままの株式会社シンコーと今年3月に撤退したソニー株式会社の工場跡地活用への考えは。

株式会社シンコー跡地は土地、建物ともに兵庫県西宮市に本社を置く食品加工事業者が購入し、早期の操業開始に向け準備を進めている。また、市外に集約移転したソニーについては非常に残念に思うが、本市の積極的な関与は難しい。

その他の質問
ふるさと納税は貴重な財源。今後の取り組み姿勢について
国の働き方改革関連法案が成立する見通しだ。影響はあるのか

問 登米市民病院の将来展望は

答 臨床研修病院の指定を目指す



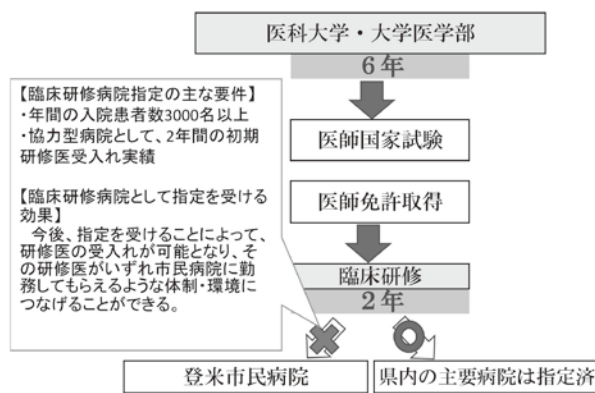
岩淵正弘 議員

登米市病院事業 3病院4診療所体制で今後も持続的、継続的に経営ができるのか。

市民病院に一般急性期病院としての機能を維持するために医師を集約する一方、米谷病院、豊里病院においては、将来的に療養病床および介護医療院などへの転換も含め、3病院の機能を見直す必要がある。診療所は、常勤医師の確保および収支状況を勘案し、今後の在り方を検討しながら持続的、継続的な経営ができるよう体制づくりを進める。

基幹型臨床研修病院の指定を受け、本市出身の医大生が卒業と同時に本市の病院を選べる環境づくりができないか。

地域医療の構築に向けた取り組み（臨床研修病院の指定）



今がラストチャンス。東北医科大学の新設医大としての役割は、東北地方の医療を支えること。ここで医学生を受け入れる体制を整えなければならぬ。今、医学生が3年生なので、3年後の2021年までに基幹型臨床研修病院制度の要件をクリアしなければならぬ。医学生は、医師国家試験を受ける前に臨床研修病院を決めるため、今やらないと間に合わない。実際に、本年と来年が勝負の年になる。

問 スポーツ活動支援と振興策は

答 楽しさや喜びと体力の向上を図る



日下 俊 議員

本市の子どもたちは、肥満がみ、運動不足という結果が出ている。学校教育での取り組みは。

生涯スポーツ振興策は、どのようにするのか。
総合型地域スポーツクラブで、さまざまな事業を開催し環境づくりを努めているところである。アプリを活用したウォーキングを推進し、運動習慣の定着に取り組んでいる。また、パークゴルフ



授業で運動する子どもたち

スポーツ活動機会の増加による体育の充実を図る。
31年にパークゴルフ場がオープンするが、スタートを2カ所にするか108ホールとして活用できるか。また、ターゲットボードゴルフ場として併用できるか。
運営や競技で共存できるか検証し、選ばれるパークゴルフ場とした

問 登米インターまで4車線化実現を

答 三陸道の4車線化は大変重要



沼倉利光 議員

三陸自動車道は、県北高速幹線道路の接続によって、今以上に重要な高規格道路となり交通量の増加が予測される。そこで、桃生豊里インターから登米インターまで4車線化の早期実現が必要と思う。国をはじめとする関係機関への強い働きかけが必要と考えるが、市の考えを伺う。



三陸道4車線化を早期に実現し、理想的な交通体系へ

桃生豊里インター以南が供用開始され、石巻圏および仙台圏との所要時間が短縮し、物流産業への経済効果や通勤・通学、高度医療機関への通院や緊急搬送など、時間短縮による効果は大きい。県北高速幹線道路の

中田工区供用開始を本年に控え、三陸道の4車線化は大変重要であると捉え、東部地域道路懇談会を通じ国への要望を行う。
登米インターまで4車線化の用地が取得されているという話があるが、確認する。
国に確認したところ、既に4車線化相当の用地は確保済みとのことである。

問 登米診療所について

答 8月1日以降休診となる



伊藤 栄 議員

問 常勤医師の確保ができない理由で休診をするという医療局の方針に、驚きと戸惑いで市民は不安になっている。

答 常勤医師の確保に努めてきたが、めどがたないこと、病院事業内の医師も昨年度より減少し、市立病院医師による



休診となる登米診療所

病院が廃止され、今度は診療所まで休診となる。地域の住民感情からすれば、到底納得できるものではない。

休診後、地域住民の不安を解消するための市長の考えは、

登米診療所を利用してある患者様の意向を最大限くみ取り、市立病院との連携や開業医の先生のご協力をいただきながら、他の医療機関へ紹介。また、通院の足の確保、患者送迎バスの導入などについて調整している。

問 農業振興地域指定区域の見直しについて。

答 農家皆様のご意見や本市の政策等を十分考慮し、進めたいと考えている。

問 給料大幅カット公約は守るのか

答 選挙公報は机に置き毎日見ている



氏家英人 議員

問 4月1日付で、市長が任命した副市長が就任した。これで、選挙公約である「市長、副市長報酬大幅カット」ができる環境が整ったと考える。

そこで、いつ「市長、副市長報酬削減案」を再提案するのか。

答 29年9月定期議会に市長のみの2割の報酬削減案を提案したが、5議員からさまざまな理由により反対討論が行われ、採決の結果、大差で否決された。その時、可決していけば当然、今回は副市長報酬削減案を出せたが、市長報酬削減案が否

また同じ4年間にしますか？ それとも皆様の力で変えますか？

- 1 新庁舎建設計画の白紙撤回
既存施設の有効活用、余力は福祉・子育て・地域活性化・若者定住対策に！
- 2 安心して暮らせる医療体制
市民病院の信頼回復、赤字体質の解消。産科・小児科対策に全力。
- 3 市長、副市長の報酬大幅カット

29年4月23日に執行された登米市長選挙の公報より抜粋

問 登米診療所休診に対する対応策は

答 3病院直通の巡回バスを計画



須藤幸喜 議員

問 なぜ臨床研修病院として指定を受けなかったのか。

答 指定要件である新規入院患者3千人、24カ月初期研修医受け入れを満たしていなかったこと、および国の医療制度改革の流れに対応してこなかったことが要因である。

問 登米診療所の休診には納得がいかない。市民に隠すことのない説明をするべきでは。

答 市民の心情も理解できる。考えていく。

問 自治体提携融資制度の導入を図っては

答 婚姻による費用や住居を求める資金、出産や



7月24日開催 住民説明会の様子

育児・教育に要する資金などに活用できる低金利の制度を確立し、勤労者の生活向上を図っては。

答 生活の安定と向上など、勤労者のよりよい生活支援に向け、導入に取り組んでいく。

問 テレビ共同受信施設・付帯工事の更新助成制度を

答 テレビ難視聴地域を解消するため、共同受信

施設組合を設立し、改善してきたが、実施後20年が経過する。基地および配線の劣化が著しい。制度を確立し助成を行うべきでは。

答 重要性については十分認識している。今年度から実態調査を行い、補助対象経費や費用負担の在り方など検討する。

問 どう守る地域医療

答 市民病院に医師循環のハブ機能を



中澤 宏 議員

問 急速に変わる市民病院は、地域医療の再編か崩壊か。

答 現在、常勤医師の減少による診療体制の縮小や患者数の減少に伴う経営の悪化が続いており、このままでは、市立医療機関の維持さえも困難な状況になりかねないと危惧している。今の状況であれば、崩壊に向かっているということだ。

問 市民の期待に応える地域医療の構築をどう考えるか。

答 基幹型臨床研修病院の指定を受け、研修医の受け入れを行い、その研修医がいずれ市民病院に勤務していただけるよう



臨床研修病院の指定を目指す市民病院

な体制と環境づくりが必要だ。

問 基幹型臨床研修病院指定のスケジュールは。

答 今年から3年間、新規入院3千人を達成し、33年から研修医を受け入れたい。

問 米谷・豊里病院の今後はどうなるのか。

答 最優先は、若い医師が来る病院づくり、ハブ機能を市民病院に持た

せ、そこから医師の派遣ができ、その上で地域の病院、診療所を支えるという方向に持っていかなければ、地域医療の崩壊は免れないと思う。

今大事なのは、臨床研修病院の指定を受け、医師を循環型に変え、結果として米谷・豊里を守ることだ。

問 登米診療所の診療継続を

答 休診せざるを得ない



工藤 淳子 議員

問 登米診療所は医師不足のため、8月1日から休診との説明があった。休診となると整形外科、耳鼻咽喉科、眼科の診療ができなくなるのか

ら、多くの患者から不安の声が上がっており、「なぐさないでほしい」と訴えられている。住民にとって病院は、命と健康を守る、なくてはならないもの。登米診療所の継続を願うが、市長の考えは、**答** 常勤医師確保のめどが立たない状況であり、長期にわたる診療応援も困難であることから、休診せざるを得ない。



登米診療所の診療継続を

問 患者輸送バスのこともあるが、住民説明会を開くべきではないか。住民は納得していない。これからも要望は続けたらと思うが。

答 説明会を開くかどうか検討させてもらいたい。登米診療所がどうあるべきか、今後もしっかり考えていく。

真婦(夫)控除のみなし適用の実施を

問 婚姻歴のないひとり親家庭は、税法上の真婦(夫)控除の適用がなく、保育料など利用者負担に差が生じている。他の自治体のように実施すべきでは。

答 国の制度改正により、30年9月分の保育料から実施する。

その他の質問
・公共施設の使用料について

問 米山総合支所の整備計画について

答 建物設備の劣化診断を行う



武田 節夫 議員

問 米山支所を複合施設として、一体的な整備を図るべきと考えるが。

答 電気・空調設備などの更新や建物改修の検討が必要になってくる。また、劣化診断の調査を踏まえ、今後個別計画において方向性を検討する。

問 登米市陸上競技場整備計画のコンセプトは、

答 多機能・複合型施設としての役割を備えた陸上競技場の整備を計画していく。

問 県内など5カ所の競技場の現地調査の結果をどう思うか。

答 指摘・知見をいただいた。基礎調査も含めて、総合的に議会で説明していく。



米山総合支所と改善センターを複合施設としての一体的な整備を

いく。

問 登米市民病院の現状と課題は。

答 医師の高齢化が進み常勤医師が退職している。深刻な医師不足で医師の負担の増加を招いている。

問 経営健全化の対策は。

答 基幹型の臨床研修指定病院となり、研修医を受け入れ、勤務してもらえよう環境と体制づく

くりが必要と考える。

問 医師不足解消のため、民営化を図るべきでは。

答 市民病院の医師数の充足に取り組む。市民病院への医師の集約や米谷・豊里病院は、少ない医師でも可能な医療介護体制への転換など、民営化も含めた経営形態の見直しなども、今後検討していかなければならない。

問 スポーツ交流人口増へ施設の充実

答 効果的な配置と設備水準を検討



岩淵 正宏 議員

問 利用度の高い野外運動施設にナイター照明を設置し、一般の方が平日夜間でも利用可能な整備をしてはどうか。

ている体育施設は、「安心」をキーワードに整備方針を定めるべきである。照明、ワックス、用具類が運動に不可欠なものもあるが、整備基準は、**答** 地域の施設、旧町が組んで使う広域的施設集約し相乗効果が出る施設等を整理した中で、効果的な配置と設備水準を検討する。



老若男女、みんなでスポーツ(ふるスポ東和地区大会)

また、指定管理委託し

指定管理協定書では、

目安として修繕費20万円以内が指定管理者、超えるものは教育委員会で優先度を判断し実施する。

問 登米、津山の公民館ホールはコンクリートフロアーのため、かえって膝を悪くするような施設である。安全対策は。

答 31年度までに個別計画を策定する。その間、安全確保に留意し、利用していたたく。

問 陸上競技場に、付帯施設としてスポーツクラブイミングやスケートボードができる一角を整備するとか、登米公民館ホールの屋根だけ残し、ボルダリングの壁を設置してはどうか。

答 陸上競技場の多目的利用は考えていない。社会教育施設の実態を把握し、広くアイデアを聞きながら施設運営につなげたい。

その他の質問
・文書管理と保管について

問 狭くて不便なトイレの再整備を

答 優先順位を付け、計画的に取り組む



追公民館

問 本市の観光施設や公民館などのトイレの利用者から、「狭くて不便である」「子どもたちが使いたくない」といった声が多く聞かれる。現状と課題をどのように捉えているのか何う。

答 洋式化率は61%、多目的トイレの設置率は46%である。建設年次の古いものは狭いものが多い。また、改修・改善が進んでいない状況にある。

問 計画的に再整備を進めるべきだ。

答 施設の経過年数や老朽度合い、利用頻度を考慮しながら、計画的に取り組んでいく。

問 多言語表示や相談体制は

答 本市でも外国人労働者が必要とする事業所が増加している。また、訪日外国人観光客の増加が見込まれることから、多言語表示や相談体制はどうか。



長沼フートピア公園

問 本市でも外国人労働者が必要とする事業所が増加している。また、訪日外国人観光客の増加が見込まれることから、多言語表示や相談体制はどうか。

答 外国人の受け入れに向けた取り組みは不十分と認識。国際交流協会等の協力をいただき、多言語表示や相談体制の整備に取り組んでいく。

問 検討課題のその後は

答 一般質問での「スマホを活用した市民通報システムの導入」は、その後どう検討されたか伺う。

答 道路の不具合通報に特化した仙台市の例を参考としながら、本年度中の試行に向け取り組んでいく。

あなたの声

市民メッセージ

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

地域で守る通学路



おいかわ かなえ
及川加成恵さん
(東和)

米山町から東和町錦織へ嫁に来て12年。現在は3人の子を持つ親であり、米川地域振興会の職員2年目、地域の方々に日々ご指導をいただき勉強している毎日です。

通学の列に車が突っ込んだり、下校途中で事件に巻き込まれたりする世の中ですが、東和町でも不審者の警戒は続いています。私自身も数年前、子ども達の登校中に、後を追う不審車両を目撃しています。その際、地域保護者の迅速な対応と地域全体で見守ってくださるその姿勢に、親として感謝でいっぱいです。

今後、地域にできる予定のバイパスがあります。しかし、子ども達の横断場所に死角となる残された小山：地域の様子を見ての判断なのか、予算の関係なのか、不安が残るままです。県に対し、市の方からも事故や危険のない、安全通学路となるよう働きかけを望みます。



おのでら ひとし
小野寺仁さん
(石越)

集い場、石越笑友家

地域おこし協力隊として石越町に半年間住み、芦倉地区にある笑友家を石越町の集いの場とするために、5月中旬から始めました。不特定多数の人を呼べるような商業地として認められるには、消防法により消防用設備等の設置が必要となります。しかし、費用が相当高いとのこと。協力隊事業費では、費用を賄えません。

将来的には、石越の集いの場、時には商業施設として、石越町に親しみのあるアンテナショップ、ワークシヨップとしたいと考えています。

協力隊を引退した後でも、笑友家を残したいため、行政の方にもタイアップをお願いしたい。また、若者がもつと農業を始められるように、定住のための補助金等による支援を通し、県外から若者と呼んでほしいです。何軒かを買い取って写真を上手く撮り、土地と住宅を若者にアピールするなどの取組を望みます。

少子化を思う



ちば かずいち
千葉和市さん
(南方)

今年2月をもって、病气もせずには還暦を迎えることができました。このような機会をいただきましたので、少子化について考えてみました。

私は、平成8年度に南方小学校のPTA会長を務めました。児童数は328人で、私の地区は会員数27人、児童数が34人でした。親子旅行は大型バス、マイクローバス、ワゴン車での一大イベントでした。しかし、現在は会員数18人で児童数は26人です。我家には、現在小学3年生と5歳の孫がいます。来年、下の孫が小学校へ入学しますが、大袋地区からはたった1人となるようです。

高齢化社会も大変な世の中ですが、地域にとって少子化の問題は、地域の将来、存在に関わる重大なことです。子育て支援も含め、子ども達を取り巻く環境の改善を強く望みます。先日、孫のおたよりに「うちの持込み使用の文章がありました。教室に1台の扇風機でクールダウンできないのは当たり前。それをうちわで、それも休み時間だけの対応。これでいいのでしょうか。

平成29年度 政務活動費収支報告書

政務活動費は議員の調査研究・その他の活動に必要な経費の一部として、会派または会派に属さない議員に対し、議員1人当たり月額2万5千円を交付しています。

登米市議会では用途の透明性を図るため、収支報告書に全ての領収書の添付を義務化・申し合わせています。支出額が交付額に満たないときは、その残額を返還することになっています。なお、収支報告に係る関係書類はどなたでも閲覧でき、平成29年度分からホームページでも公開しています。

(単位:円)

会派および議員名	大地の会	新・立志の会	登米・みらい21	太陽の会	日本共産党市議団	須藤幸喜	岩淵正弘	熊谷和弘	浅田 修	伊藤 栄
議員数	7人	6人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人
交付額	1,925,000	1,650,000	825,000	550,000	550,000	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000
支出項目	調査研究費	1,518,388	410,510	483,580	322,386	44,000	22,000	223,391	227,455	169,318
	研修費	0	0	0	0	120,800	0	55,370	0	0
	資料作成費	23,441	0	0	25,705	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	3,660	0	0	0	16,200
	広報費	0	0	19,440	158,468	279,024	120,149	0	0	0
	広聴費	0	0	0	5,004	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	22,684	0	0	0	0	0	0
支出合計	1,541,829	410,510	525,704	511,563	447,484	142,149	278,761	227,455	185,518	193,585
戻入額	383,171	1,239,490	299,296	38,437	102,516	132,851	0	47,545	89,482	81,415

会派構成

会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員の集団をいいます。また、会派を構成することにより、能率的な運営ができます。

※ 会派を結成するには2人以上が必要です。

新・立志の会	大地の会	太陽の会	登米・みらい21	日本共産党市議団
代表 岩淵正宏 経理責任者 關孝	代表 沼倉利光 経理責任者 佐々木幸一	代表 氏家英人 経理責任者 曾根充敏	代表 田口政信 経理責任者 伊藤吉浩	代表 佐藤恵喜 経理責任者 工藤淳子
八木下俊	及川長太郎	岩淵正弘	熊谷憲雄	岩淵正弘
日下俊	熊谷憲雄	上野晃	中澤宏	佐々木好博
岩淵正弘	武田節夫	佐々木好博	佐藤千賀子	佐々木好博



30年度議会モニターに委嘱状を交付しました

市議会では、「市民と共に開かれた議会づくり」を目指しています。市民の皆さまから議会活動や議会運営に関して意見を寄せていただくため、30年度の議会モニターを募集し、8人に対して、委嘱状を交付しました。

【議会モニター】

- 千葉 徳郎さん (迫町)
- 高橋 文幸さん (迫町)
- 鈴木 恭平さん (迫町)
- 森田 侑子さん (中田町)
- 千葉 芳子さん (登米町)
- 千葉 正宏さん (石越町)
- 沼倉 芳雄さん (豊里町)
- 阿部 隆さん (豊里町)



委嘱状交付式の様子

議会改革度ランキング

「議会改革度ランキング」とは、全国の議会における改革の取り組みを数値化しランキング形式で表したもので、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年公表しています。

登米市議会における29年度の取り組みに対する評価結果は、全国では44位から39位（宮城県では1位）となりました。

今後も、さらなる議会改革を推進し、「市民と共に歩む 開かれた議会」を目指します。

議会からのお知らせ

9月定期議会

9月7日(金) 開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

詳しい議会日程は、議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

6月定期議会の傍聴者は46人でした。

傍聴ありがとうございました。

facebookはじめました

登米市議会



いいね！をお願いします



あとがき

6月定期議会では、病院、学校施設、教育方針、農業問題および体育施設の在り方等について、議員から活発な質問がなされました。

これらに共通の課題は、「少子高齢化」や「人口減少」であると考えます。

このままでは、市の財源は減少し、さらには経済成長率も鈍化します。また、年金、医療、介護といった社会保障制度も回らなくなります。

課題解決のため、議会では市民皆さまと協力することが重要と捉えておりますので、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

(岩渕正弘)

広報広聴委員会

委員長 日下 俊

副委員長 佐々木好博

委員 上野 晃

委員 曾根 充敏

委員 須藤 幸喜

委員 岩渕 正弘

委員 佐藤千賀子

委員 熊谷 和弘

委員 関 孝

議長 及川 昌憲